



西之表

市政の窓

第373号／平成5年10月1日発行 ■発行／鹿児島県西之表市役所 ■編集／総務課秘書広報係 ☎09972②-1111 FAX②-0295



鉄匠 八板金兵衛清定像完成 種子島ライオンズクラブが市に寄贈

鉄砲伝来（1543年）の翌年に製銃を成した鉄匠、八板金兵衛清定を顕彰する銅像が産業会館となりて完成。9月8日、火縄銃の号砲で除幕した。このモニュメントは、創立25周年を迎えた種子島ライオンズクラブ（松島満会長、62人）が鉄砲伝来450周年を記念して総工費800万円で建立、市に寄贈したもの。かつては黒山と呼ばれた鍛冶屋街にほど近い場所に、新名所は夜もライトアップで浮かびあがる。（銅像はブロンズ製で高さ5m（台座を含む）。製作は、彫塑で全国に知られる喜多敏勝氏による）

聞こえますか 450年前の銃声か



'93鉄砲伝来450周年 一種子島一

10月の行事予定

- 1～3日 鉄砲伝来450周年記念祭
- 6日(水) 第38回熊毛地区社会福祉大会
(午前10時～中種子町中央公民館)
- 9～10日 いきいき健康・ファミリースポーツフェスタ in 西之表
(9日：午後1時～、10日：午前9時～市民体育館)
- 9～10日 第28回全九州サイクリング大会 in 種子島
- 17日(日) 第31回市民体育祭 (午前8時半～市営グラウンド)
- 20日(水) 市小学校陸上記録会 (午前9時～市営グラウンド)
- 22日(金) 第38期青少年ホーム講座開講式
(午後6時半～青少年ホーム)

1993年 10月号



▶ 無惨に倒壊した
住吉神社
(左は崩壊前の姿)

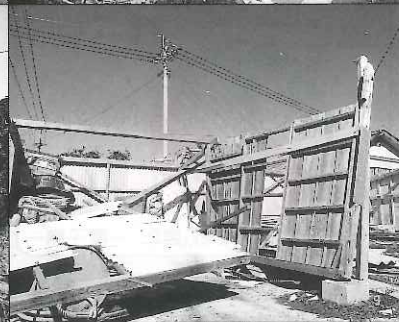


最大瞬間風速59.1m
被害総額 8億2千万円

猛威ふるった台風13号

▼ 台風のため跡 (9月2～3日撮影)

戦後最大級の勢力と言われた台風十三号は、九月二日、種子屋久地方を六時間にも及び暴風雨にまき込み、同日午後三時四十五分には最大瞬間風速五九・一メートルを記録(種子島測候所)。本市の被害は、農作物一九五五ヘクタール、家屋全半壊二四八棟、負傷者二人、被害総額は八億二千万



円にも及びました。特に農作物については、冷夏、長雨、日照不足などの異常気象、そして台風七号につづく今回の十三号の直撃と被害は甚大。さとうきびは倒伏、葉の裂傷が著しく、また、塩害による甘藷への被害は大きく、農作物はのきなみ二割から三割

の収量減が予想されています。今後の農業経営への影響が心配される中、市農林業技術者連絡協議会(榎本修会長)では対策を緊急討議し、経営再建への制度面、技術面の説明会を各地域で開催しているところです。罹災された皆様の早期の復興をお祈りいたします。



アリモドキ防除だより

10

種子島の農業と経済に深刻な被害を及ぼすサツマイモの病害
虫アリモドキゾウムシをみんなの力で早期に根絶しよう!!

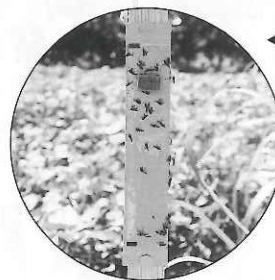
アリモドキ中種子町で発生

サツマイモを食い荒らす特殊病害虫アリモドキゾウムシが中種子町の熊野地区でも発生していることが九月十六日の調査で確認されました。

アリモドキゾウムシは平成二年十一月に西之表市で発生確認して以来、その拡散防止と早期根絶のため関係機関、団体、栽培農家が一丸となって防除に取り組んで来ましたが、

今回の調査は、発生確認から二年十ヶ月を経過して、熊毛地域アリモドキゾウムシ防除対策協議会が、未発生地域への侵入警戒に万全を期すため、虫の活動が活発な時期に簡易粘着トラップによる詳細な全島調査を実施したもので

この結果、西之表市の未発生地域と南種子町では発生を



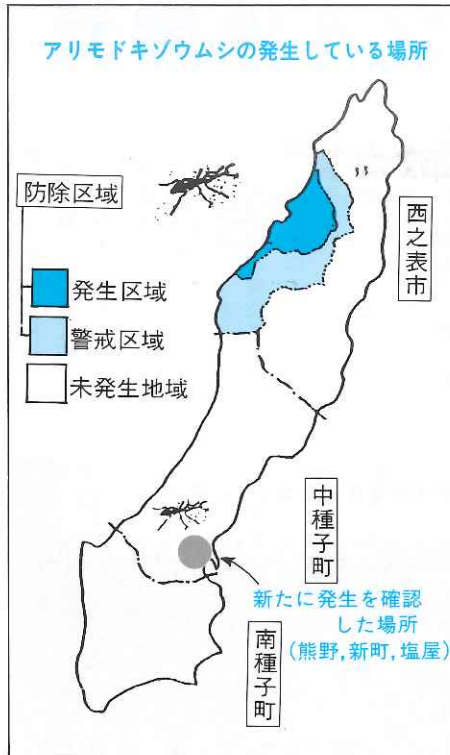
簡易粘着トラップにアリモドキが大量に捕まっています。

認めなかったものの、中種子町内に設置した五九五カ所のトラップの内、熊野、新町、塩屋の三集落の十四トラップで三八七頭のアリモドキゾウムシが発見され、その後の調査で、畑周辺に放置されたサツマイモなどで発生しているのが確認されました。

同協議会は、直ちに町技連会とともに緊急防除体制を敷き、集落民と一体となった防除を開始しています。

アリモドキゾウムシ早期根絶のため、皆様の絶大なご協力をお願いいたします。

アリモドキゾウムシの発生している場所



〈問い合わせ先〉

熊毛支庁農林水産課② 1113 1
西之表市役所農政課② 1111 1
市農協営農指導課② 1211 1

市長
随想

台風

榎本 修



私達の種子島は台風の常襲地帯と言われているが、最近大型台風の襲来がなく、いくぶん気の緩みもあったのではなかろうか？ 今回の台風十三号、最大瞬間風速五九・一

メートル、実質六〇メートル以上と推測される。農作物を中心に家屋等多くの災害を受けました。罹災された市民の皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

この災害にもめげず、各集落、地域で、敬老会、運動会等が開催され、むらおこしの息吹が満ち満ちておりますこと、心たのめしく、心より敬

意を表しますとともに、その気魄に感激いたしております。顧みますと、四百五十年前、私達の先祖が台風で漂着したポルトガル船を修理し、その乗組員を親切にもてなし、日本で初めて西洋文化に接し、これを受け入れ、日本の歴史を変えたこの偉業。これも台風災害にめげず先取の気概を持って対応された私達先祖の行為であり、これを高く評価し誇りとするものであります。

九月十六日より二十日迄サグレス号・マカオ号の訪問を受け、全島これを歓迎し終了、十月一日より三日、四百五十周年記念式典、鉄砲まつり、十月二十七日ポルトガル大統領訪問と記念行事が続きます。これら等を通じて私達島民の気魄と種子島の良さを島内外に知らしめる好機だと私は思っています。市民皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

2,500人 NHK特別巡回ラジオ体操会

鉄砲伝来450周年記念事業として誘致したNHK特別巡回ラジオ体操会が九月十五日の「敬老の日」、市民体育館で行われ、体操曲に「一、二、三」とあわせた参加者二千五百人の声が電波に乗って全国のラジオに十分間生放送されました。

NHKラジオ体操の人気はさすがに高く、会場には午前五時頃から参加者の姿が見られ、六時には予定した二千人をはるかに超え、準備した記念品も全てなくなる盛況ぶりに、NHKスタッフをはじめ、主催した450周年事務局もうれしい悲鳴。

指導は、NHKの人気番組「クイズ百点満点」の満点体操でおなじみの輪嶋直幸先生と、アシスタントに肝付智美さん、栗山久美子さんのお二人。

リハーサルも順調に進み、午前六時半に本番がスタート。ラジオ体操の歌が流れた後、輪嶋先生が鉄砲伝来450周年を迎えた種子島を紹介。参加者全員がラジオ体操第一・第二でスケールいっぱい、体を動かし十分間の本番を無

体育館いっぱいに広がりラジオ体操をする2,500人の皆さん



90歳以上は101人

各地域で敬老行事

九月十五日の敬老の日を前に、市三役と市福祉事務所、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、民生委員の皆さんは十四日、市内の九十歳以上の方々を対象に敬老訪問を行いました。

市内の長寿者の構成は、九月一日調べ、同月末の満年齢で、八十歳から八十九歳が七百五人、九十歳以上が百一人。その頂点は、九十八歳の八木ふくさん（わかさ園）、木原平四郎さん（川迎）、深田ミサさん（浜之町）です。

敬老訪問では、記念品を贈り長寿をお祝いしましたが、「腹八分の食事と規則正しい生活、軽い運動をかかさな」といった長寿のひけつを同った関係者の皆さんは頭をかかえ、「適度のお酒はOK」でほととし「飲みすぎは毒」でガツクリ。

ところで、各地域、学校、施設等では、近年、世代間交流の重要性にかんがみ、その取り組みを進める動きが数多



く見られるようになりました。

例えば、六月二十二日、特別養護老人ホームわかさ園の皆さん九人が平和の園保育園に招待され、園児と楽しく昼食会を過ごした。松田のぞみちゃんは「昔のお話とか聞きたいな」とおばあちゃんにお茶をすすめていました。

また、七月七日には、上西高齢者学級の皆さんと同小学校児童が交流会を行い、同PTAがこしらえた料理をごちそうになった後、児童らが歌

おしらせ

鉄砲伝来450周年記念
第22回

市民文化祭

日時：11月3日(水)～7日(日)

会場：市民会館

主催：市文化協会

後援：西之表市・市教育委員会

<式典および特別講話>11月6日(土)午後8時～

○演題：鉄砲伝来とその周辺

○講師：平山武章先生

<展示部門>

○書道・文学 11月3～7日 午前9時～午後9時半

○園芸 // // //

○絵画・写真・華道 11月5～7日 // //

<実演>

○茶道 11月3日 午前10時～午後3時

<舞台部門>

○音楽・舞踊・剣舞・詩吟

11月5日 午後7時～午後9時半

11月6日 // //

11月7日 午後1時半～午後4時

11月7日 午後7時～午後9時半

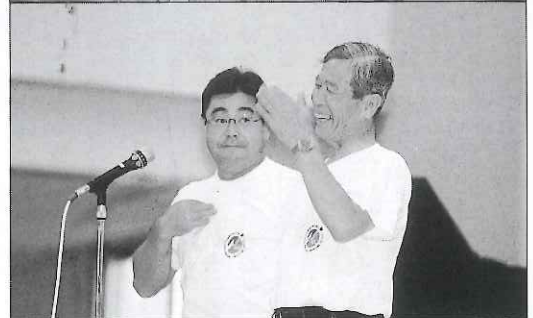


広い体育館が狭く見えた日

事終了。会場では「いい汗をかきました。これからは早起きをして、ラジオ体操を続けます」との参加者の声も聞かれました。

▼(写真上)緊張感もほぐれ、第二ラジオ体操を楽しむ参加者

▼(写真下)舞台上で輪嶋先生の個人指導をうける榎本市長



正西小学校児童の小さい手で肩をもまれ喜ぶ上西高齢者学級の皆さん

と肩もみをプレゼント。洲崎和夫さんの肩を祐貴くん(孫同小五年)が優しくもむ姿など実にほほえましいでした。時節にこだわらない、このような世代間の交流もまた、敬老の一つの形なのかも知れません。

なお、九十三歳以上の皆さんは次の方々です。ますますのご長寿をお祈りいたします
敬称は略します

98歳

八木 ふく(わかさ園)

木原平四郎(川迎)

深田 ミサ(浜之町)

96歳

日高 慶慈(わかさ園)

95歳

岩坪 萬蔵(湊泊)

日高 エイ(わかさ園)

鎌田 ハツ(美浜町)

赤崎 サダ(軍場)

田元 イ子(池之久保)

梶原 英三(寺之門)

中園 スエ(わかさ園)

94歳

村永 ミ子(杵之峯)

柳田 スナ(浦田)

河野 鈴彦(榕城中目)

平山 クミ(小牧)

倉内 トミ(里之町)

八坂 タマ(わかさ園)

竹之内ミヤ(平山)

田上 ヒナ(田屋敷)

93歳

清本 モト(浦田)

荒河 長次(湊)

河野 徳治(西町)

古田 長八(沖ヶ浜田)

石寺 シズ(下石寺)

三窪 ミ子(野首)

江口 泰助(今年川)

上妻 ホソ(中之町)

榎本 アヤ(池野)

上妻 静馬(古田中之町)

三原 正司(古田中之町)

村添 ユキ(浅川)

村松 キサ(榕城中目)

牧瀬 マサ(わかさ園)

島外チームも多数参加して盛大に 鉄砲船競り舟大会



夏の風物詩として定着した種子島鉄砲船競り舟大会が八

月二十二日、池田港で島内外二十五チームの参加のもと盛大に開催され、鹿屋Aが優勝、二位に熊本津奈木、三位に湊クルーが入賞しました。

本大会は例年、七月の種子島鉄砲まつりの中で実施されて来ましたが、今年は特に、鉄砲伝来450周年行事との関連で鉄砲まつりが十月に移行したことから、このドラゴンボートレースを種子島の夏の観光を支える貴重なイベントとして位置づけ、夏場に単独開催することになったのです。

大会前日の二十一日は、島外からの参加者百三十人（熊本県五チーム、鹿児島県五チーム）を歓迎するレセプションを開催。バーベキューを囲んで大門三郎歌謡ショーという歓待に皆さん感激し、夜のふけるまで賑わい、親睦を深めました。

明けて大会当日はドラゴン日和の快晴、無風。水上バイクのデモンストレーションに続いて、国体選手の村山夏美さん、原崎貴子さん、山下いづみさんによるカヌーの模範演技が行われ、また、今年発

足した市カヌー協会（長野野幸生会長）からは下西小学校児童十一人、安納小学校児童四人が日頃の練習の成果を披露し、その見事なパドルさばきに大きな拍手が送られていました。

ドラゴンボートレースは種子島火縄銃の号砲でスタート。競技は、行き二〇分、帰り一〇分の折り返しコースで行われ、コーナーの処理いかんで優勝の行方が決まるというだけにレースは予選から熱気に包まれました。

クルー一丸となり、素晴らしいパドルングを見せた島外チームは各レースに上位でゴール。それに刺激された地元チームも持てる力を発揮して善戦。参加者全員がドラゴンボートレースの楽しさ、魅力を十分に満喫した大会になったようでした。「次の大会は負けないぞ!!」と再会を約束する姿も見られました。

県内では十月二十四日、根占ドラゴンボートフェスティバルが開催されますが、この伝統ある大会に種子島から三チーム参加する予定です。健闘を祈ります。

意見発表とスポーツで交流

熊毛地区青年大会

どろんこになってゲートボールで交流する青年ら



第二十七回熊毛地区青年大会が七月三日と四日、西之表市を会場に開催されました。現在、地区の青年団員は二百六十九人。初日は市民会館で開会式が行われた後、一市四町のそれぞれの代表が意見を発表。青年団活動や地域活性化などについて日頃の考えを力強く述べ聴衆の共感を呼びました。二日目は、あいにくの雨の中、スポーツで交

流。市老人福祉センターで行われたゲートボール大会では、泥んこになっての競技となり、一打ごとに大きな笑いをさそっていました。

地区青年団連絡協議会の田平祐一郎会長（中種子町）は「青年たちの交流、仲間づくりを進めながら、地域社会の活性化のために微力ながら頑張っていきたい」と語っていました。

27人の留学生らがホームステイ

種子島で巡回国際交流プラザ



対面式を終えた参加者とホストファミリーの皆さん（市役所玄関前）

「地球人の集い 夏物語イン種子島」をテーマに、巡回国際交流プラザが本市をメイン会場に八月二十日から三泊四日の日程で開催されました。財団法人国際交流協会が県下全域で国際交流の機会が拡大するよう毎年主催しているもので、沖永良部（和泊町）、長島（東町）に続き今年で三回目です。

中国、ブラジル、スペイン、フィリピンなど十カ国から留学生や技術研修生として来日滞在する二十七人が来島。日本の家庭を十分に味わっていたらこうと本市のホームステイ登録家庭など二十二世帯が歓迎しました。

滞在中は、ホストファミリーとのなごやかな交流が展開されたほか、浦田海水浴場では市連合青年団員とのバーベキュー大会も賑やかに行われました。また、参加者は、市内の黨元を訪問し、焼き物にも挑戦するなど、短いスケ



ジュールの中でしたが、島の文化に触れ、自然もまた十分に満喫したようでした。なお、今回の企画をサポートした市教育委員会では、今後も引き続きホームステイ登録家庭（現在四十五世帯）を募り、国際交流を推進する方針です。お問い合わせは市教育委員会社会教育課②1111までご連絡ください。

交流の歩みわかりやすく紹介

「ポルトガル・コーナー」完成

種子島開発総合センター



ポルトガル両国旗とウィラ・ド・ビスポ・西之表両市旗のほか、昨年、ポルトガル国立文化センターより贈られたモビール（動く彫刻）を配置。ポルトガルを紹介するビデオも放映されています。また、パネルコーナーでは、近年ポルトガルやマカオを訪問した本市の使節団の友好交流の様子を写真で紹介するなど充実。交流の歴史やポルトガルを知る絶好の施設として人気を集めることでしょう。

種子島開発総合センターに「ポルトガルコーナー」が完成し、八月九日、榎本市長らのテープカットでオープンしました。同コーナーの設置は、センターが鉄砲伝来450周年を記念して、昨年からの準備を進めていたもので、これまでのポルトガルとの交流の模様をわかりやすく展示説明しています。コーナーの正面には日本、

未来の為の世紀的冒険 3万海里200日の旅 日本歴訪の初地は種子島

—ポルトガル文化を色濃く残す大西洋・インド洋・太平洋25港を訪問—

ポルトガル海軍練習船サグレス号（一七二五ト、八九・五m、乗組員百七十四人）と同マカオ号（二〇〇ト、三四・一m、乗組員十四人）が九月十六日、西之表港に入港し、二十日までの五日間、数々のイベントが開催され、種子島は日ポ交流一色となりました。

サグレス号は、日本ポルトガル友好四百五十周年を記念して来日、最初の訪問地として種子島に寄港したもので、昭和五十八年以来、十年ぶり、二回目の来島。

十六日午前八時半、島民多数が出迎える中、サグレス号が天神埠頭に接岸。

歓迎式では榎本修市長（鉄砲伝来450周年記念事業推進委員会会長）が「百五十日の長い航海の疲れを種子島でいやしていただき、歓迎の行事で友好交流を深めてほしい」とあいさつ。これにこたえて、ロドリゲス・レイテ艦長は「四百五十年前とは違い、今回は鉄砲を持って来たわけでもなく、また通商のためでもありません。艦内の一般公開や関連の行事で皆さんと交流

するために参りました」とユーモアたっぷりに友好使節としての目的を強調しました。

その後、会場では、市婦人会連絡協議会の皆さんによる手踊りや、南種子町からは棒踊り、また種子島火縄銃保存会の皆さんが礼砲（二十一発）を試射して式典に花を添えました。

サグレス号、マカオ号の乗組員ら一行は十六日の夜、歓迎レセプション（於：市内ホテル）に出席。十七日は「乗組員歓迎の夕べ」（於：市民体育館）で国分自衛隊音楽隊の演奏や早川結女ライブコンサートを楽しみ、そのお礼に乗組員二十人がポルトガルの歌を披露。フォークダンスで島民と交流する場面も。

十八日は、中種子中央運動公園でゲートボールによるスポーツ交流が行われ、夜は島内関係者を招待してサグレス号主催のレセプション。十九日は、南種子町立西之中学校の運動会に参加、門倉岬ではマカオ号来島記念セレモニーも行われました。午後からは市営グラウンドで乗組員と市サッカー連盟（長野力会長）

による国際親善友好サッカー大会を開催。栖林神社では大始式（市指定文化財）の見学も行われました。

ポルトガル国立文化センターが開設した折り鶴のような巨大テントの中でのパネル展。そして、連日にわたる両船の一般公開、夜間照明（イルミネーション）など、数多くの話題を呼んだサグレス号、マカオ号歓迎フェスティバルでしたが、その最終日の二十日の午後、天神埠頭で出港セレモニーが行われました。

下西小学校トランペット隊の演技で式典が始まり、お互いに記念品を交換した後、レイテ艦長が「我々にとって最も大切な寄港地である種子島。今回の訪問で相互理解を更に深めることができました。皆さんの優しい友情がうれしかった。船員たちも多くの思い出を持って出航することでしょう」と感謝の言葉を残して乗船。中種子町のアッチャメ踊りと南種子町のロケット太鼓で送別し、離岸するサグレス号に種子島火縄銃南部銃砲隊が送砲。小さくなっていくサグレス号とマカ

オ号に、岸壁では別れを惜しむ小旗の波が大きく揺れていました。

島に続いて東京、徳島などゆかりの地を訪問した後、帰途につき、紅海、スエズ運河、地中海を越えて本国ポルトガルへ。二〇〇日の大航海を終えることになっています。



BEM - VINDOS
SAGRES

ようこそ!! サGRES号



▶「未来の為の世紀的冒険」を続け、日本歴訪の最初の訪問地として種子島に寄港したサGRES号（九月十六日撮影）



夕映えに美しいサGRES号のイルミネーション



3年ぶりに入港したマカオ号



歓迎レセプションでの子供舞踊



早川結女 ライブコンサート



“市民との夕べ”で乗組員がコーラス

No. 43

前田宗倫さん (79歳・中目)



「鉄砲伝来450周年という大変おめでたい時ですので」と種子島の讃歌を作詩。「どなたか曲をつけていただければ幸いです」と語った。

作詩 前田宗倫

一 一万石でも種子島様は七百年のその昔から文武あまねき平和の郷を築き伝えし南の島に

二 一万石でも時堯様は鉄砲伝来名も高い四百五十年そのかみの亂世鎮めし基の統ぞ

三 一万石でも栖林様は甘諸伝来名も高い三百年前食しき民の飢えの苦しみを救いし糧ぞ

四 昔鉄砲今ロケットと時にさきがけ文化のはじめ一万石でもわが種子島のほまれは永久に日本の光



遠藤	川越	岩元	田畑	芝康	井元	柿内	小倉	柳	南	廣村	濱口	羽生	東	橋口	小川	宮下	榎元	原崎	出生児
佳奈	翔	夏紀	優香	太郎	裕大	真衣子	泰喜	裕貴	千咲	太志	匠	泰浩	佑真	俊平	敬之	一樹	佐矢香	心	
建次郎	健一	繁佳	広和	育生	康浩	英一	一久	和文	雄一郎	辰郎	匡	志朗	好告	英德	清	一二三	德美	宏	保護者
西俣	下石寺	西町	榕城中目	松島	西町	若宮	野木平	鴨女町	池野	美浜町	松島	天神町	小牧	鞍勇	田之脇	榕城中目	上之原町	白石	住所

おめぐり



総 数……20,485人 (+3)
 男 ……9,824人 (+5)
 女 ……10,661人 (-2)
 世 帯 数……7,871世帯 (-2)
 市の面積……205.69km²

うぶごえ・ごめいふくは
八月中の受付分です。

橋口ハル	橋口ヒサ	三枝定	阿世知ミエ	長野チカ	中崎ミ子	美園ナカ	上妻ヨ子	池浪ナツ	下江ミツ	和田キク	氏名	年齢	住所
95歳	87歳	87歳	81歳	87歳	90歳	90歳	81歳	95歳	71歳	89歳			
壺	大	鞍	美	横	久	壺	住吉中之町	池	勇	西			
泊	野	勇	浜町	山	保田	泊		田		町			

ごめいふくを
お祈りします

ふるさとを想う 38



英会話サークルの友達と(前列向って左端が本人。平成3年撮影)

ふるさとを離れて三十年余り……図らずも「市政の窓」に投稿させて頂く事となり、さて、一体何を、どの様に、と一瞬戸惑いながら老眼鏡を探している……、そんな年になりました。

昨年夏、十七年ぶりに帰郷致しました。あまりの変貌ぶりにびっくり、車中から眺める景色は、何処をどう走っているのかさっぱり。近代化が進み、近い将来ジャンボが飛

ひろ 子さん (旧姓: 下田)
早川 紘

(現住所: 〒330 埼玉県大宮市本郷町1, 040)
TEL: 048-665-0281

出身: 現和西俣
昭和35年 種子島高等学校卒業

び交う時代に変貌しつつある
昨今、チョッピリ一抹の淋しさも感じずにはおられませんです。

四季折々に届く心温まる田舎の味に、しばし郷愁に浸り心の安らぎを求めている私です。時々、店頭で黒砂糖やトッピー、ザコを見つけ、あつ、なつかしい、と思わず買ってしまふ私ですが、やっぱり味がちがう、田舎のあの味とは全く違うのです。いま

だに定期便のように送ってくれる母や叔父叔母達の暖かいぬくもりが伝わってくる様で、胸がジーンと熱くなってしまう事もしばしばです。

強烈な南国の太陽の下で、真黒になって過ごした日々、周りの暖かい愛情に育まれ、大自然の中でのびのび育った事に、とても幸福を感じ、ふるさとのある事に、感謝しております。

都会の砂漠ときえ言われている中、「純朴さ」だけは見失わないよう心がけている積りです。

十八年前、初めて島を訪れた主人は、降るような満天の星空に、星があまりにも間近に眺められた事に、まさに別天地だ!! と大感激でした。又、人情味あふれる人々とのふれ合い、紺碧の海と空、そして大自然、いまだに忘れられないようです。

開発が進み、どんどん都市化されていく中、あの島独特の素朴さ、人情味だけは、永遠に息づいていて欲しいと願っております。でも、もっと発展して欲しい!! (自然とバランス良く)。

十月には、鉄砲伝来四百五十周年の大イベントがある由、遠すぎるのがとても残念に思います。島に想いを馳せ、大盛況であります様お祈り致しております。

昨年は、思いがけない悲しい帰郷となりましたので、あちこち散策する心のゆとりもなく、友と逢う事もなく帰って参りました。そのうち、ゆつくり帰島致し、幼い頃歩いた小径を探し、学生時代のなつかしい場所を訪れてみたいナ、と、とても楽しみに致しております。

私も、大宮に住み二十五年余り。八月一日現在、市人口四十二万二千人余り、二十五年の間に大宮も随分と発展致しました。住めば都とやらで大変気に入っています。

お陰様で健康で病氣一つせず充実した日々を過ごしております。

四年前から、老後のボケ防止のために、お友達等、主人共々囲碁を習い初め、これが又おもしろくて、毎週土曜日は、囲碁教室に通うのが、目下最高の楽しみの一つでもあります。まだまだヘボです。

が、囲碁を深く知る程に、人生とは何ぞや!! と生意気のようにですが、少しずつわかって行けるような気が致します。

これから先二十年後、三十年後、いろんな人々とふれ合い、じっくりと無言の対話が出来るという事が最良の楽しみの一つでもあります。家でも、時間さえあると「一局打ちますか」と、主人と無言の対話に花を咲かせています。

人生、何事も前向きに心豊かに、そして麗しく年を重ねてゆけたら……と。

私の人生航路の指針としております。

ふるさととは、遠くにありて想うもの、

ふるさと、あの海
あの、山、川、

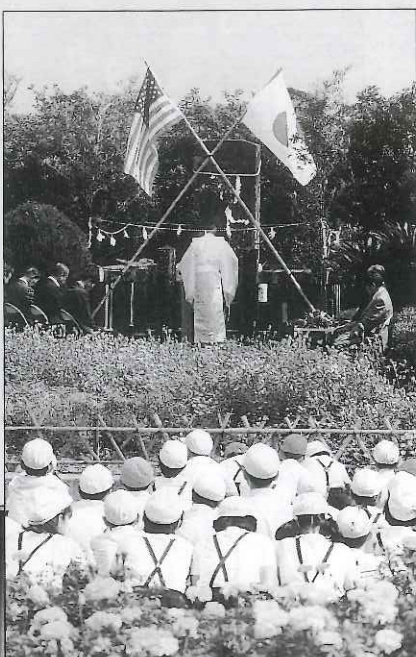
ふるさととは、永遠に私の心のオアシスである。

今回の「ふるさとを想う」は東京都練馬区にお住まいの牧内與吉さん(六十歳、現和浅川出身)にご登壇いただく予定です。

太平洋をまたいだ虹② (伊関)

郷土史家・平山武章さん

米国の石油運搬船カシミア号が明治十八年(一八八五)に種子島沖で嵐にあい遭難。九死に一生をえて種子島に漂着した乗組員と安城、立山、伊関の皆さんとの温かい交流の模様を綴る。今回はその二回目。



▶ 校区民、小学生全員の参賀による紀徳祭は毎年開催。大きな日章旗と星条旗の旗竿が交叉して立てられ、碑を引き立てている。(伊関小学校に建立された紀徳碑の前で)。

▼ 小学校では式が終わった後、全員が体育館に集まり、カシミア号漂着の状況を紙芝居にして観覧し、当時を偲ぶ。



カシミア号に残った五人、亜米利加人チャールズニッケル、那威人フレッドオルスン、同ワットベートルスン、端西人ジョンズミス、同テールローソン等は一番高い前部甲板に集まって漂流の覚悟をきめたが、三本の帆柱を倒した際のショックで船体の傷みの大きさに愕然とした。手分けして船内を捜したが、水タンクは破損して一滴の水もない。残るものは少しのヤム諸だけである。

五人は結局、大工のベートルスンを中心に船材を使えるだけ使って筏を造り、母船を離れることにしたのだ。そして十三日おそく筏は大波に乗って母船を離れた。二日、三日となると渇きと飢え、幻覚と死の恐怖、そして一週間後の九月二十日の深夜、五人は生きて陸に辿りついたのだ。地元の古田貞吉が漁りしていて、その灯を見て一人が様子を見に近寄って来たのである。こうして五人は危く死の淵から脱出できたのであった。

ター紙の左の一文を示そう。「……種子島の人々は米軍の空襲に脅かされながらも、決して決してカシミア号の恩義だけは放棄しようとしなかった。いずれ真珠湾は我々アメリカ人に忘れられる時が来るだろう。しかし、このことだけは永久に記憶されるべきである」。

安城の出来事はすでに伊関にも伝わっていたから、其の同類とは分かったものの、五人の衰弱が余りにも酷いので、地元の人達の心遣いも大変だった事は説明を要しない。さて、カシミア号の遭難については、昭和九年西之表町より「南島回顧録」が発行され、昭和四十八年に羽生操著「太平洋にける橋」が発行された。この南日本新聞社の本は、大園純也氏が米大陸にまで足をのぼしての追跡で、アメリカ側の大きかった反応を詳細に伝えて感動的である。その中に紹介しておられるクリスチャン・サイエンスモニ

「善隣の道に係る所軽きに非ず我が皇訓有り維の民仰ぎて成す災厄相恤む孰同情せざらん」
 芳は微にして報ゆるは厚し彼の至誠を見る長くその賜を受けて我が群英を育まん」

手話講習会

○9月から20回コースで始まりました。受講希望者は直接会場へおいでください。
【講習日】(10月) 6・13・20・27日 (11月) 10・17・24日 (12月) 1・8・15・22日
(1月) 12・19・26日 (2月) 2・9・16・23日

【時間・会場】午後7時～9時・市民会館 【問い合わせ先】市福祉事務所福祉係 ☎21111 内線250

10月1日から 公図閲覧有料化

不動産登記法の一部が改正され、10月1日から公図（地図に準ずる図面）の閲覧には手数料が必要となります。国の基準点（三角点）を基準として境界を測量した地図が備えられていない地域については、公図が、土地の位置、形状、地番を示す唯一の公的資料です。今回、公図が法律上登記所に備え付けられ、誰でも、手数料（一枚四〇〇円）を納付してその閲覧を請求することができるようになりました。

公図の閲覧手数料は、公図を整備しその維持管理を行うための経費にあてられるなど、登記事務の適正・迅速な処理の一層の推進をはかるために役立てられます。

〈主な登記手数料〉

○登記簿の謄本・抄本、登記事項証明書
一通八〇〇円

○登記簿の閲覧
一登記用紙四〇〇円

○登記事項要約書

一登記用紙四〇〇円

○地図の閲覧 一枚四〇〇円

○地図の写しの交付 一筆四〇〇円

○地図に準ずる図面（公図）の閲覧 一枚四〇〇円

10月22日(金)

行政相談所開設

全国の市町村に配置されている行政相談委員は、役所などが行っている仕事についての相談に対して直接助言したり、関係機関に通知・照会した結果を回答したり、皆さんの身近な行政相談窓口となっています。

行政相談委員は、総務庁長官が特にお願いして、皆さんの相談相手となってもらっている民間の有識者で、自宅や電話でも相談に応じています。

相談は無料で秘密は固く守ります。また匿名の取り扱いも行っていますので、お気軽にご相談ください。

《本市担当の行政相談員》

古田 重さん

(下西川迎 ☎21507)

行政相談所開設

▼日時…一〇月二二日(金)
午前九時～午後四時

▼会場…市民会館

訓練生募集

県立吹上高等技術専門学校

県立吹上高等技術専門校が

次の内容で訓練生を募集します。訓練期間は一年です。

▼募集訓練科目、定員

○自動車整備科……………10人

○建設機械整備科……………20人

▼募集期間…平成5年10月1日(金)～11月10日(水)

▼選考日…11月22日(日)

▼特典・特色

○入学金・授業料および実習材料費無料

○寮完備

○技能者育成資金貸与制度あり(月額一三〇〇円～二二〇〇円の範囲)

○その他

▼問い合わせ先…県立吹上高等技術専門学校 千八九九・三

三 吹上町中之里一七

☎0992・96・2050

今月の料理④

ざこの南蛮づけ



紹介者：市食生活改善推進員協議会

材 料

ざこ(きびなご) 300g
玉ねぎ 1個
人参 1本
ピーマン 3個
かたくり粉・揚げ油

調味料

酢 カップ1/2
しょうゆ(淡口) 大さじ2
しょうゆ(濃口) " 1
みりん " 2
砂糖 " 3

〈作り方〉

- ①ざこ(きびなご)はよく洗って水気を切っておく。
- ②玉ねぎはうすく輪切り、人参ピーマンは千切りにする。
- ③鍋に調味料を入れて火にかけ、一度煮立てる。
- ④揚げ油を170℃～180℃に熱し、①にかたくり粉をまぶし、からりと揚げる。熱いうちに③の漬け汁に玉ねぎ、人参、ピーマンをつけこむ。

交通事故発生状況

平成5年9月15日現在(対前年同月比)

※死者傷者とも発生場所での件数です

区分	発生件数	死者	傷者
西之表市	47(+1)	0(-1)	55(+2)
中種子町	26(-10)	1(±0)	30(-10)
南種子町	17(+4)	0(-1)	22(+6)
計	90(-5)	1(-2)	107(-2)

最低賃金

日額4,220円

時間 528円

鹿児島県最低賃金(地域別最低賃金が今年10月1日から次のとおり改正されました。

▼日額：4,220円

▼時間額：528円

この最低賃金は、臨時・パート・アルバイト等を含むすべての労働者に適用されるもので、使用者は、適用される最低賃金額を労働者に周知し、必ずこの金額以上の賃金を支払わなければなりません。

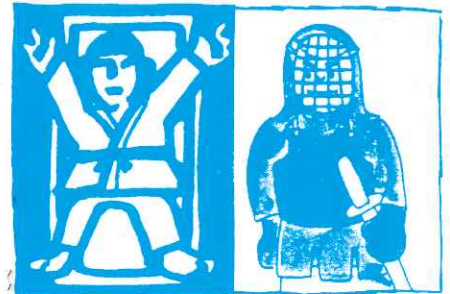
なお、最低賃金には、次の賃金は算入されません。

① 精勤手当、皆勤手当、通勤手当、家族手当。

10月は労働保険適用促進月間

- ② 臨時に支払われる賃金(賞与など)。
 - ③ 一月を越える期間毎に支払われる賃金。
 - ④ 時間外・休日労働等の賃金
- ※ 時間額は、賃金の大部分が時間を単位として定められている労働者に適用されます。

昭和50年4月1日雇用保険法施行以来、労働者を一人でも雇用する事業主は、労働保険(雇用保険・労災保険)に加入しなければなりません。



市体育指導委員紹介

本市スポーツ振興に活躍いただく平成5・6年度市体育指導委員は次の15人の皆さんです。

指導委員は、スポーツに関する深い関心と理解をもち、その職務に必要な熱意と能力をもつ方の中から教育委員会がスポーツ振興法に基づいて任命するもので、任期は2年間。

スポーツ活動組織の育成・実技指導や住民のスポーツ振興のための指導助言、行政機関・団体の行う催事等への協力など、その職務は多岐にわたっています。

〈体育指導委員〉——敬称略——

沖田 政男	中 目	③2715
砂坂 春義	嶋 女	③0389
名越 高典	大 花	③2351
羽生 友保	池 野	③0432
砂坂 徹哉	桜 園	③1181
永田 章	柳 原	③0899
榎本 逸朗	大 平	③0626
羽生 幸至	現和下之町	③0378
榎本 勝志	安城上之町	③7239
鮫島 一春	立 山	③7022
松岡 勝見	十六番	③8504
江口 宏	古田上之町	③3463
大木 公英	浜之町	③8932
梶原 ひろみ	本 立	③2096
久保 孝子	下 郷	③0396

退職の日から10日以内

〈離職証明書〉

退職の日から10日以内

▼問い合わせ先…手続きの方法、その他不明の点がありましたら熊毛公共職業安定所(愛称…ハローワーク熊毛) 09972②1318にお問い合わせください。

10月は

高齢者雇用促進月間

労働省では、急速な高齢化が進む中で高齢者の雇用の安定に関する法律の趣旨を踏まえ、60歳定年を基盤とした65歳継続雇用など高齢者の雇用の増進をはかるため、毎

年10月を「高齢者雇用促進月間」として高齢者雇用促進運動を展開しています。若年労働者の減少に鑑み、高齢者の雇用問題は我が国の重要課題でありますので、事業主をはじめ関係者のご協力をお願いします。

国では高齢者の雇用に關して次のような援助制度を実施しておりますので、詳しくは職業安定所にご相談ください。

- 継続雇用制度導入奨励金
- 継続雇用移行準備奨励金
- 高齢者多数雇用奨励金
- 特定求職者雇用開発助成金
- 高齢者職場改善資金貸付
- ▼問い合わせ先…熊毛公共職業安定所 ☎②1318

8月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 112.4トン		島内産 45.0トン (40.1%) 島外産 67.4トン (59.9%)		
取引額 3,718万円		島内産1,583万円 (42.6%) 島外産2,135万円 (57.4%)		
種	類	入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島内産野菜類	根菜類	3.1	803	257
	葉茎菜類	3.8	2,522	668
	果菜類	9.5	2,691	284
	その他	14.8	4,363	294
	小計	31.2	10,379	333
島内産果実類	すいか	10.5	1,065	101
	ぶどう(巨峰)	0.5	242	488
	その他	0.8	494	621
	小計	11.8	1,801	152
島内産花類・鶏卵・加工品・その他		2.0	3,650	1,798

◎8月の特徴……先月に引き続き、長雨、台風の影響で出荷が少なく、高値が続いています。

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。

新着図書

市立図書館
☎②1111 内線274

- おもしろ日本史入門 1～8巻 長岡 清ほか
- 悪役のふるさと 村松 友視
- 医学生 南木 佳士
- 漫才病棟 ビート・タケシ
- ガンに打ち克つ 14通の手紙 藤本和代ほか
- 結婚しましょ! 中村 敦夫
- 秋山仁の数学トレーニング 秋山 仁ほか
- 老いてマスマス耄碌 吉行淳之介
- 晴耕雨読ときどきワイン 玉村 豊男
- 情報将校の先駆「福島安正」 豊田 穰
- ゴードンスミスのニッポン仰天日記 荒 保宏訳

鉄砲館だより

種子島開発総合センター
☎③3215 (ミナミニコ)

※総合センター内の市民作品展示コーナーは入場無料です。お気軽に入館・ご鑑賞ください。

10月の展示

- ポルトガルの古地図展 9/16～10/31
- 種子島の刀剣展 9/26～10/8
- 日高部洋画展 10/1～10/31
- 夏休み理科作品展 10/10～10/31

平成5年	休日在宅医		休日営業スタンド			
10月3日 (日)	田上病院 松 畠②0960		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1291	内門商店 沖ヶ浜田②0291	向江商店 安 納②1147
10日 体育の日(日)	池田医院 天神町②0260		種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現 和②0005		
11日 振替休日(月)	多愛病院 中 目②2401		全 店 休 業			
17日 (日)	中目医院 野 首③0350		市農協第1 川 迎②0543	中村石油店 現 和②0021	江口石油店 国 上②0808	
24日 (日)	松崎医院 西 町②2455	城西医院 中 目②0243	有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川添商店 現 和②0810	水口石油店 国 上②0007
31日 (日)	井元医院 東 町②0075		種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納②1111	
11月3日 文化の日(水)	田上病院 松 畠②0960		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1291	内門商店 沖ヶ浜田②0291	向江商店 安 納②1147
7日 (日)	池田医院 天神町②0260		種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現 和②0005		
14日 (日)	多愛病院 中 目②2401		市農協第3 松 畠③0128	中村石油店 現 和②0021	江口石油店 国 上②0808	
21日 (日)	中目医院 野 首③0350		有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川添商店 現 和②0810	水口石油店 国 上②0007
23日 勤労感謝の日(火)	松崎医院 西 町②2455	城西医院 中 目②0243	種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納②1111	
28日 (日)	井元医院 東 町②0075		三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1291	内門商店 沖ヶ浜田②0291	向江商店 安 納②1147



Portugal

ポルトガルへの

旅

③③

ポルトガル紀行②

——文章——
榎原定男助役



▲ 朝日新聞'93元旦号（ポルトガル特集記事）を囲んで、左からローシャ提督、ブリット副委員長、榎原助役、種子島時邦氏（5月26日、リスボン市庁舎にて）

四百五十年目の握手

鉄砲伝来450周年記念ポルトガル訪問の旅が五月二十四日から六月一日までの九日間にわたって行われました。一行（二十三人）の団長榎原定男助役がその模様を五回シリーズで報告いたします。今回はその二回目です。

五月二十六日（水）、リスボン市庁舎を訪問。さつきく、巨軀のギマランイス副市長、小軀の私をはさんで、貴賓室や隣室の大広間で記念撮影。千本通訳を通して約一時間の談話、昨年の榎本市長ポルトガル訪問の模様の話が及び話が尽きない。

リスボン市庁舎をあとにし、一行は市内の史跡観光。国宝「ベレンの塔」や「発見のモニュメント」、要塞等。私と種子島時邦さん（第二十九代）、千本通訳の三名は、駐ポルトガル日本大使館に、着任早々の市岡大使を訪問。榎本市長のメッセージを伝える。種子島などを贈る。発見記念塔での日高節画伯個展セレモニーには市岡大使も列席された由、大使からすこぶる盛大であった模様を聞く。

一時間ほどで大使館を立ちポルトガル発見国家委員会事務局を訪問。受付嬢が「ブリット副委員長は、あなた達をまだか、まだかと待ちこがれておられる。早く二階へ」とせきたてられて二階執務室へ。

ブリット副委員長、ローシャ海軍提督お二人の歓迎の辞をいただく。榎本市長御礼のメッセージを伝えると、早速節画伯個展セレモニーの記念写真四ツ切りを五十枚ほどめぐりながら説明を受ける。先の市岡大使のお話のとおり、リスボン市長をはじめ国や市の要人、経済界、美術界の御歴々で一杯の花園の様。特に銘記すべきことは、発見記念塔は国宝であるので、一流の画家の作品でなければ展示は許可されないとの事。このこと一つを見つめても節画伯の熱意により実現した絵画を通しての日ポ友好親善の実は、誠に大きいものである。しかも、このセレモニーは、大阪在住の節先生作品愛好会の二十名ツアーが特別参加して、節先生のこの個展に錦上添花をそえていることを付け加えたい。

出発前に、榎本市長からブリット副委員長は誠にお話好きの方と聞いていた。昨年の榎本市長ポルトガル訪問の事に及ぶと、筐底深くから、種子島から贈られた白文の「鉄砲記」をとり出し、大航海時代のポルトガルの国と日本とのかかわり、鉄砲、キリスト教、医術、衣食住などについて目下勉強中と述べられ、次から次へ話題は広がる、又、ワインの悠遠も尽きなかった。特に、十四代時義公の子孫二十九代時邦さんの訪問に痛く感激された。昨年二月上旬、榎本市長がポルトガル訪問の際贈られたあの「わかさ姫」の人形（二尺ほど）が、執務室の飾り棚の上にひとりおさまっており、私たちの談笑を洩らさず聞いていたようだ。

その夜は、ホテル「フロリダ」泊。五月二十七日（木）、八時にホテルを発つ。これから先はバスで五時間以上と聞き、一行覚悟をきめる。行けども行けども、右も左も、ほとんどコルクの木ばかり。太き三十センチほどのものから60センチほどのもの、ブナ科の常緑喬木である。表皮下のコルク組織は、軽く弾性に富み、水や空気を通さず、熱の不良導体なのでビン等の栓に利用され、産地としてポルトガルは有名。

五メートルほどのところから枝が広がっている、その下空間に、丘陵が果てしもなく広がり、木立の風景が、汽車の窓のように後へ後へと流れ続ける。